



学校だより

令和元年9月30日

横浜市立洋光台第三小学校

10月号 校長 金澤 智美

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yokodai3/>

ケヤパ遠足を通して

校長 金澤 智美

厳しい残暑や台風など自然が猛威をふるう9月でしたが、天高く浮かぶいわし雲や朝夕の涼風に、ようやく秋の訪れを感じるようになりました。

9月26日、全校でケヤパ遠足に出かけました。片道、徒歩約30分の道のりを、学年縦割りの「ケヤパグループ」で日野中央公園を目指しました。公園の芝生では、グループごとに遊んだり、集会委員会によるイベント「X先生を探せ!」を楽しんだりしました。

グループのまとめ役を務める6年生にとって、縦割りの活動は、児童の成長を大きく促す機会と考えています。往路の弾むような足取りに対して、復路では小さい口元をきゅっと締めて黙々と歩く1年生。そのような1年生を行きも帰りも気遣いながら、手をつないだり腰をかがめてつぶやきに耳を傾けたりと、優しく接する6年生の姿は、下級生にとって頼もしくあるとともに、身近なあこがれの存在としても映ったのではないのでしょうか。

子どもたちはそれぞれの個性に応じてさまざまな役を果たしています。話題や笑いを提供する子。聞いて盛り上げる子。話に水を差す子。黙って聞いている子。どの子どもの行動も、意味ある役割や使命を担い、周囲の子どもたちや私たち教職員に気付きや学びを与えています。学校では、子どもは自分を無条件に丸ごと受け止めてもらえているという実感を持ち、生を受けていることが誰かの励みや生き甲斐になっていることを感じ取ったとき、勇気をもってよりよい道を自ら歩んでいけると考え、教育活動に取り組んでいます。

さらに、「あこがれ」の存在を広げていくことも、大切と感じています。1、2年生は、横浜DeNAベイスターズによる野球出前教室で、プロ選手から「投げる・打つ」について教わりました。5年生は、みなとみらいホールでの「心の教育ふれあいコンサート」や国際協力センターで、演奏する方や働く方の姿を、間近に見たり聞いたりすることができました。4年生は、車いすや障がい者スポーツ（ボッチャ）を体験し、教えてくださる方の話に感銘を受けました。それぞれの立場で活躍されている方々に出会えたおかげで、子どもたちの心に一石が投ぜられたことは間違いありません。

10月には、オリンピックの学校訪問も予定されています。子どもたちが自分のよさを大切にしながら、将来に向けて夢やあこがれをもって未来を切り拓いていけるよう、魅力ある学習を目指し、取り組んでまいります。後期もどうぞよろしくお願いいたします。